

令和7年度 第78回 青森県高等学校総合体育大会卓球競技会 兼 全国高等学校総合体育大会・東北大会青森県予選会 実施要項

- 主催 青森県高等学校体育連盟
共催 青森県教育委員会 青森県高等学校校長協会
後援 (公財) 青森県スポーツ協会 八戸市教育委員会
主管 青森県高等学校体育連盟卓球専門部
- 1 期日 令和7年5月31日(土)～6月2日(月)
- 2 会場 八戸市体育館 (八戸市亮市輿遊下3 電話 0178-22-7181)
- 3 競技種目 (1) 男子学校対抗(団体戦) (2) 女子学校対抗(団体戦) **※学校対抗に地区予選はない。**
(3) 男子ダブルス (4) 女子ダブルス (5) 男子シングルス (6) 女子シングルス
- 4 競技日程

月 日	時 間	内 容
5月31日(土)	7:30	開館・受付・練習
	8:30	開会式
	9:00	男女学校対抗 ベスト8決定まで／男女ダブルス 決勝まで
6月1日(日)	7:30	開館・受付・練習
	8:30	男女学校対抗 決勝まで／男女シングルス ベスト32決定まで
6月2日(月)	7:30	開館・受付・練習
	8:30	男女シングルス決勝まで

※受付時間前は、会場に入場できない。

※男女ダブルスでベスト8に入ったペア、男女シングルスでベスト16に入った選手は順位決定戦がある。

※男女シングルスに於いて東北大会の無条件出場者が全員ベスト16に入った場合、ベスト32に入った選手で東北大会代表決定戦を行う。

※女子学校対抗に於いて東北大会の無条件出場校が準決勝に進出した場合、ベスト8に入った学校で東北大会代表決定戦を行う。

- 5 競技規定 (1) 現行の日本卓球ルールと以下の規定を適用する。
ア 選手は、(公財)日本卓球協会発行のゼッケンを背中につけること。
(2) タイムアウト制
ア 学校対抗は1回戦から、ダブルスはベスト8決定戦から、シングルスはベスト16決定戦から導入する。
イ ダブルス、シングルスともに順位決定戦・代表決定でも導入する。
(3) 学校対抗の監督のベンチ入りについて
ア 監督の資格は、校長が認めた指導者とする。
イ (公財)日本卓球協会発行の役職者章(日本卓球協会発行の2025年度役職者章)を着用すること。
(4) 個人戦のアドバイザーのベンチ入りについて
ア アドバイザーの資格は、大会申込時にエントリーされた当該学校の団体戦の監督か選手に限る。
イ 団体戦に参加していない学校の場合のベンチ入りは、当該学校の登録された監督か選手のみとする。
ウ アドバイザーの入場は選手と同時にでもよい。試合途中でコートを離れてもよいが、以後はそのコートに復帰できない。
エ (公財)日本卓球協会発行の役職者章(日本卓球協会発行の2025年度役職者章)を着用すること。
選手の場合はゼッケンを背中につけること。
(5) 日本卓球ルールの中で、以下のことに特に留意すること。
ア ラケット、正規のサービス及び促進ルールについては正しく理解しておくこと。
イ 競技用ユニフォームは、(公財)日本卓球協会公認マークのついたものとする。
ウ ラバーをラケット本体に貼る場合に使用する接着剤は、(公財)日本卓球協会が公認した接着剤のみとし、必ず指定した場所で使用すること。

- 6 競技方法 (1) 全種目11ポイント5ゲームマッチのトーナメント方式とする。
(2) 学校対抗は次の方法で行う。
ア 登録選手は4～8名とする。ただし、外国籍留学生は2名以内とする。
イ 試合は次の順番とする。

順 番	1	2	3	4	5
形 式	S	S	D	S	S

S=シングルス

D=ダブルス

シングルスとダブルスに重複して出場できる。ただし、ダブルスは1番と2番では組むことができない。

シングルスは全て異なる選手とする。

ウ 外国籍留学生は、1試合につき1名が単複を問わず1回のみ出場できる。

エ 勝敗は3試合先取で決する。

オ 試合は、2コートを使用する場合もある。※試合途中でも1コートから2コート使用への変更指示があり得る

7 使用球及び使用卓球台

- (1) 使用球は、ニッタク 3スター プレミアムクリーン、VICTAS VP40+3スター、バタフライ スリースター ボールR40+、バタフライ スリースター ボールA40+の選択とする。
(2) 使用卓球台は、メインアリーナ24台を使用し、色はブルーとする。

- 8 参加資格**
- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。
 - (2) 選手は、各県高等学校体育連盟に加盟している高等学校生徒であること。
 - (3) 平成18年4月2日以降に生まれた者で、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
ただし、参加資格の特例として、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は3回までとする。
 - (4) チームの編成において、全日制・定時制・通信制課程の生徒による混成は認めない。
 - (5) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
 - (6) 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない（外国籍留学生もこれに準ずる）。
ただし、一家転住等やむを得ない場合、各都道府県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りでない。
 - (7) 外国籍留学生の参加については、別に定める（公財）全国高体連卓球専門部の規定による。
 - (8) 選手は、あらかじめ健康診断を受け、在校長の承認を必要とする。
 - (9) 選手は、当該年度に（公財）日本卓球協会に登録された選手であること。

9 参加申込

- (1) 申込方法
 - ア 各校顧問が大会申し込みシステム（以下「申込システム」）から必要事項を入力し、確認メールを地区責任者へ送信すること。
 - イ 申込システム【URL <http://www.aomori-tabletennis.org/entry/>】
 - （ア）青森県高体連卓球専門部ホームページ【URL <http://www.aomori-tabletennis.org/>】で詳細を確認すること。
※申込システムの説明書は、（ア）からダウンロードできます。
 - （イ）最初に申込システムへの登録（登録済みの選手・監督の他、入退部員・監督の追加・削除等）を済ませること。
※参加申込を入力するためには、（イ）を事前に済ませなければなりません。

（2）申込（入力・送信）締切

ア 学校対抗 令和7年4月24日（木）

イ ダブルス・シングルス 別紙各地区予選会実施要項を参照

- 10 参加料**
- | | |
|--------------------------------|---------------------------------|
| (1) 学校対抗 10,000円 | ・ダブルス・シングルス両方に出場しても「1人」とカウントする。 |
| (2) ダブルス・シングルス 1人1,500円 | ・県高校総体地区予選までに、地区責任者へ納入すること。 |

11 宿泊 県高校総体宿泊要項による。

12 その他

(1) 外部指導者について

ア 青森県高等学校体育連盟卓球部監督規定（平成20年4月1日より実施）に準ずる。

イ 外部指導者申請書は、各地区責任者から送付された様式に記入の上で、令和7年4月24日（木）までに日本卓球協会への監督登録を済ませて地区責任者まで申し込むこと（年度内一回）。

ウ 大会申し込み期限までに外部指導者申請書が提出されていない指導者はベンチに入ることができない。

（2）学校負担金（高体連）について

ア 男子：10,000円 女子10,000円

イ 高体連主催の学校対抗（県高校総体・県新人選手権大会）に出場する学校は、高校総体各地区予選会までに、地区責任者へ納入すること。

（3）選手・監督登録について

ア 登録料 選手：2,500円 監督：3,500円

イ 令和7年4月24日（木）までに『公財 日本卓球協会 会員登録システム』により登録手続きを行い、承認後に請求書をプリントアウトし、コンビニ等で支払を行うこと。

ウ 会員登録システム（日本卓球協会HP）【URL <https://member.jtta-park.jp>】

（4）上位大会への青森県代表数について

下表のとおりとする。ただし、推薦校・推薦選手はこの代表数に含まない。

大会	男子			女子		
	学校対抗	ダブルス	シングルス	学校対抗	ダブルス	シングルス
インターハイ	1	2	4	1	2	4
東北大会	4	8	16	4	8	16